

掲示板

**地域ボランティア活動グループ
支部・OB会**

令和5年度の取り組み

いなみ野学園同窓研修会「OB 高砂会」

令和6年2月18日

新型コロナの感染症の分類が変わり規制は緩和したが、感染者数の発表は行われないものの、発表されている一医療機関あたりの患者数で傾向を見てみると、感染の波が4月頃から始まり9月にピーク、その後一旦低下したが、12月頃から増加に転じているので、そのリスクは無視することができない。また、その他諸般の事情もあり、下記の3項目以外の活動は自粛した。以下、今年度の取り組みを紹介する。

グランドゴルフの実施

原則毎月2回、米田多目的広場で実施。令和5年4月から令和6年1月までに16回実施延べ143名の参加者(1回平均8.9名)があり、今後2～3月に計3回実施の予定。

親睦スポーツ大会兼新入生歓迎会

昨年度よりグランドゴルフから囲碁ボールに変更して実施。OBと現役の混成で6チームづくり競技。囲碁ボールは団体競技なので、各チームでプレーヤーが話し合いながら競技を進めるので親睦を深めるには良い競技。

新入生歓迎会では、現役とOBが合同で実施のため、OB会にはこのような機会が無いので、皆様のお話が聞けて大変良かった。

第48回三者合同体験研究発表会

令和6年2月5日(月)13:00、高砂市ユーアイ福祉交流センターにおいて、第48回三者合同体験研究発表会が開催された。この発表会は、高砂市老人クラブ連合会、松陽学園、そして、いなみ野学園の三者が合同で実施している。各2名ずつ(現役とOB)計6名の方々がそれぞれの体験や研究成果を発表されました。我がいなみ野学園同窓研修会からは、今竹恵美子さんが、「高砂市のあゆみー古代から近現代へー」と題して発表されました。



内容は、日岡山御陵に埋葬されている景行天皇のお后が高砂市荒井町あたりのご出身であることから始まって、国指定史跡となっている石の宝殿・竜山石採石場遺跡が古墳時代からのもので産する石材は各地で使用されてきた。江戸時代には高砂町の湊が姫路藩経済に重要な役割を果たしたと、昭和になって陸軍造兵廠工場を皮切りに、次々に工場が進出し現代の臨海工業地帯となった経緯、また、1954年(昭和29年)に高砂町他3町村が合併して高砂市が誕生、以後さらに町村合併を重ねて1957年に現在の高砂市の姿が完成した。



本研究発表会は、コロナ前は高砂市健康福祉会館で実施し、市長をはじめ多数の来賓をお招きし参加者が400名にもなる盛大な会であったが、前回からは参加者も絞り、簡素化した。残念ながら、諸般の事情により、今年度限りで終了することになった。

いなみ野学園氷丘 OB 会

代表者 吉田利之



当会は平成 14 年氷丘地区の学園卒業生の集まりを作ろうと先輩諸氏が発起、呼び掛けて6つの地区に役員、連絡員を置き「いなみ野学園氷丘 OB 会」と命名、今年で 21 年目となります。小さな地区範囲のため、同窓研本部からの資料も手渡し配布、声掛けも出来ています。発足当初より食事会、福祉バスによる見学会、ハイキング、地区包括センターによる健康講話、日岡神社の奉仕、氷丘南幼稚園での清掃、園児との交流、グラウンドゴルフ等、年度毎に違った計画による活動をしてまいりました。

平成 22 年には会員 100 名にもなりましたが、年々進む会員の高齢化による退会、勧誘による入会者もなかなか進まず現在 41 名になりました。そこへコロナによる活動自粛が続き、令和 4 年度はやっと屋外でのグラウンドゴルフの活動が出来ました。

記 堀越信義

加古川北支部

光田 芳弘

加古川北支部は総勢38名で、楽しく活動しております。

春（通常4月）の総会、毎月のグラウンドゴルフ例会が主たる行事です。

春の総会は、例年、バス旅行を実施し、総会はバス内で実施しています。

総会の後、行先で、花見或いはニュースポーツ（通常はグラウンドゴルフ）を楽しみます。

総会出席者は約30名で、グラウンドゴルフ例会には10～15名で、

両事業とも、全員が大いに楽しんで、実施しています。



盆踊り愛好会

井戸 尚子

この度、いなみ野祭で踊る演目は、「加古川よいところ」、「長生き音頭」、いなみ野学園の「いなみ野音頭」の3曲です。「いなみ野音頭」は、平成10年に当時の学生が作詞、作曲した音頭で、平成18年頃まで運動会やいなみ野祭等で、学生総出で踊りフィナーレを飾った音頭です。何とかこれを再生、復活したいとの思いで、只今、猛練習中です。以前学園におられた浅田先生に音源を頂き、黒田先生に振り付けの指導をして頂いて実現した音頭です。みなさん、一緒に踊りましょう。

